

# つばめ会会報 “Slope” #33



## 目次

会長の言葉	浅野 昭(12期)	2	インカレ運営記	大嶋 拓実(31期)	10
幹事長の言葉	伊藤 将宏(28期)	3	小山様 FC 特別寄稿	前田 裕太(24期)	12
新部長の言葉	木所 佑斗(35期)	4	おしらせ・編集後記	楠 恵輔(31期)	15
ヘッドコーチの言葉	長坂 侑亮(33期)	5			
2013年度インカレリレー メンバーの言葉	古林 琢(34期)	6			
	塚越 航(34期)	8			
	戸上 直哉(35期)	9			

## 会長のことば

浅野 昭(12期)

つばめ会会員のみなさまには、日頃からつばめ会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

人それぞれ過去の思い出はたくさんありますが、多くの方は学生時代の思い出が一番強く残っているのではないのでしょうか。特につばめ会会員にとっては、レースや部室での出来事を鮮明に覚えていらっしゃる方も多いでしょう。わたしは20年以上経った今でもセレを通過できなかったときの夢でうなされることがあります(笑)。

OB会の役割としては現役の支援や会員間の交流があります。しかし私自身年を重ねたせいか、最近になってOB会の隠れた役割として「自分が現役時代に果たせなかった夢を後輩に託す」こともあるのではないかと思うようになりました。当然のことながら、今の現役学生に自分の理想を押しつけることは単なるエゴですが、自分が達成できなかったことをクリアしていく後輩を見ることで、自分の過去を肯定的に懐かしむことができるのは、とても良い效能だと感じます。

OLTはインカレリレーの入賞、ユニバーシアードへの選手派遣など、2014年もめざましい活躍をしております。つばめ会としては、今後ともできる限りのサポートを続けていきます。応援のほど、よろしく願いいたします。

## 幹事長の言葉

伊藤 将宏(28期)

皆様新春の頃、いかがお過ごしでしょうか。

新幹事となり、二回目の **Slope** の発行となります。前回は新幹事長の言葉として原稿を作成したのですが、原稿を紛失しましたので新幹事の体制だけ、再紹介させていただきます。

幹事長:伊藤(28期)

会計:千田(28期)

名簿:堀越(29期)

広報:楠(31期)

幹事長は坪井さん、北村(伸)さんといった 24 期、25 期から一気に若返りが図られました。

経験の少ない身ですので、皆様当会の運営にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

さて、私事を申し上げますと、大学卒業後は某社に入社し、茨城に居住すること2年、出向となり現在は千葉県に在住しています。オリエン自体、というより運動自体がほぼできていない身ですので、衰える一方であります。(幸い体型はほぼ変わらずです)

本年度のオリエンスケジュールを見ますと、OLT 杯が9月末に茨城で、10月中旬にインカレロング(福井)、3月に全日本が福島と、比較的私が行きやすい場所で開かれますので、できれば参加したいと考えておりますが、体力が持つかどうか。

幹事長としても、参加しないと(せめて顔だけでも出さないと・・・)いけないと考えておりますので、皆様会場で見かけたらよろしくお願いいたします。

皆様ご壮健でありますよう、願う次第であります。

## 新部長の言葉

木所 佑斗(35期)

こんにちは、今年度OLTの部長を務める木所佑斗と申します。思えばすでに部長になって何か月か経つのですが、正直いまだにみんなをうまくまとめられているか不安な気持ちもあります。今年は新入生が 10 人以上入部し、新歓から雰囲気もいい状態が続いています。運営期である 35 期の人数は少ないですが他の期と協力してうまく仕事を回しています。

今年度のOLTの目標は「さらなる高みを目指してオリエンしよう」になりました。これには例年以上の気迫がこもっています。やはりこの原動力は昨年度インカレミドルのリレーで入賞したときの喜びであると思います。選手権メンバーでなくてもあの喜びをもう一度味わいたいという思いは誰にでもあると思います。練習メニューも平日練のトレーニング方法から見直し、大会に関しても積極的に参加を促すようになりました。コーチ陣も今年度は 33 期に加え経験豊富な 32 期からも依頼させていただきました。順調にゆけば強いチームが出来上がるかと思います。が、そうはいつでもOLTは関東の中では表彰圏内に入るか入らないかのきわどいポジション、厳しい戦いは避けられません。一生懸命やることはやるつもりなので、OBの方々もサポートや応援をよろしくお願いします。目標は個人個人様々だと思いますが、多くの輝かしい記録を残せれるようチームとして頑張っていきたいですし、そんな風にうまく引っ張っていける部長でありたいと思います。よろしくおねがいします。

## さらなる高みへ

つばめ会の皆様. 今年度東工大 OLT のヘッドコーチに就任しました 33 期の長坂と申します. 以後お見知り置きを願います.

昨年度の 3 月にインカレリレー入賞を決めたその直後, 35 期運営のもと新たなるスローガンが掲げられました. それが「さらなる高みを目指して、オリエンをしよう」になります. 今年度の OLT はさらなる飛躍を目指して始動しました. 練習の見直しや部員の意識改革を進め, 着実に上を目指す環境をが整ってきているようです. 肝心のオリエンテーリング活動について. 最近ではユニバーの代表に選ばれた 3 年生の戸上が抜きん出ておりますが, 2, 3, 4 年生各学年の中でも着実に実力をつけてきている部員が揃ってきています. また, 現在は目立たなくてもやる気を持った部員も多数おり, 更に新入部員も多数入りしましたので, 部全体として高いモチベーションで活動を行っていくことができるといえます. このような中で「さらなる高みへ」到達できるようにコーチとして最大限サポートしていくことが重要であると考えております.

私が現役部員であった 4 年間, 先輩の方々には多くのことを教えていただきました. そのことを胸に, 現役部員への指導を適切に行っていく所存です. コーチに就任してからまだ日も浅いため至らぬところが多くあるかと思えます. その際にはご指導ご鞭撻等の程よろしく申し上げます.

## 【祝】2013年度インカレリレー6位入賞

### チームメンバーの言葉

1走 古林 琢(34期)

#### インカレを走って

つばめ会の皆様、こんにちは。OLT34期の古林と申します。とは言っても前号にも私の文章を載せさせてもらいましたので、会報 slope では2度目です。

OLT部員、OBさん、そしてつばめ会の皆様が応援してくれましたおかげで、(ミドル選手権はボロボロの記録でしたが)選手権リレーにて6位入賞を果たすことが出来ました。ありがとうございます。

私自身、昨年度のことを振り返ってみると、オリエン関係では頑張れた一年であったかなと思えます。4月に入る手前に、千葉大と合同ですが大会を開くことが決まっていた(こちらについての反省は前号にて載せましたのでそちらを見ていただくと嬉しいです)。それと同時に僕自身、競技者として今年はセレクション通過、選手権リレーに出場する、という目標を立てておりました。

ロングセレでは当日の体調不良によって見事にずっこけ、かなり気落ちしたのですが、北大大会(公認 B)にて公認 E 権を取得し、(インカレロング併設ではずっこけ)ミドルセレで A 通過。リレーメンバー選考では1走希望を出さなかったのですが1走に選ばれ、かなり不安な心持での本番となりました。

インカレミドル・リレー本番。ミドルでは5ポまで「絶好調だなー」とか思っていると6ポでサヨナラしてずっこけてしまいました。そこからいつものように引きずられて(←ダメダメですね、精進します)とても残念な結果に終わりました。

このままじゃ楽しくねえ、と思いリレーでは「頑張る、離されかけてもしがみつくと」気合を入れリレーのスタートエリアへと着きました。今までリレー1走をやったことがなくかなり緊張していました。

出走となりなかなか地図が開けなくて若干焦りながらもスタートフラッグへ向かいました。今回の1走メンバーは、実力はあるものの今まで選手権リレーを走ったことのない人たちばかりでした。そのため前半ではみんなで牽制しあう感じの速くはないレース展開が繰り広げられました。時に引っ付き、時に離し(きることはできず)、また時に離されながら自分のものではないコントロールをヌルヌルとかわし第一中間をトップ集団(京都、東京、大阪、名古屋)でとることができ、そのときの僕はとてもニヤニヤしていたことと思います。

その後、脱出方向が大きく異なるようなパターン振りによって一人になってしまい、できるだけペースが落ちないように走ろうと思いつつも「足がつりそう、やばいかも(;^ω^)」。

第一中間ではトップ集団にいなかった早稲田(澤口、1年)に追いつかれ「ああ、遅れてしまったなあ」と思うが、しかしリレーではまだまだ後があるあきらめるわけにはいかないと奮起、一度は抜かれるも追いつき、そのまま引付けてビジュアルへ。かなり熱の入った応援を受けて「おや、これは入賞ラインにいるんじゃないか」と考えながら最後のループを走りました(実際、ビジュアル時点では3位だったらしいです)。

最後の登りをとぼりきると、とうとう足がつってしまい、早稲田に離され、あまりよろしくない姿勢で下りに差し掛かると東大、京大に抜かれる何とも悔しい感じで2走の塚越へとチェンジオーバーしました。最後につらなければもう少しいい位置でつなげられたのでは、と思うと今でも悔しく思います。

つた足を庇いながら応援して、最後に戸上が6番目に帰ってきて入賞。とても嬉しかったです(戸上くんのように叫んだりはしませんでした)。

昨年度のインカレミドル・リレーは終わりましたが、去年のリレーメンバーは3人とも残っていますし、後輩もどんどん上手くなってきていて、今年こそは連続入賞を果たしたいと思います。個人的にもセレクション通過、本番での好成績、また選手権リレーで出場、足をつらずに好走するつもりです。  
応援ありがとうございました。また今年もより一層よい結果を残せるよう頑張りますので応援よろしくお願いします。



## インカレを走って

つばめ会の皆様初めまして。OLT34 期(現 4 年)の塚越航と申します。今年の矢板インカレリレーでは 2 走を走らせて頂きました。

インカレについてを話す前に昨年度(3 年時)についての自分から入ろうと思います。自分は 2 年生のときはそこまで競技に身が入っていなかったという事もあり、昨年度の日光インカレでは成長していている周りや全国の同期たちと比べ、自分の実力が低下している事を痛感させられました。

そのため運営期にもなった 3 年次は、「競技への積極性と実力向上」を第一に過ごしていくことを決心し、そこからは平日練、トレーニング、予備セレやまた関東以外での大会にも、積極的に参加しに行くようにしました。

初めの頃はあまり結果も伴わなかったですが、インカレロングの辺りから徐々に調子がつき始めた事を実感しました。その分、ミドルセレに落ちてしまったのは悔しかったです。

しかしセレの時はミスした時のリカバリーや思わずパックをした事で現ロスを多発させてしまった事など、改めて自分の弱点を実感する機会になったので、セレ後はとにかくインカレ本番で同じようなことをしないように、それらの対策を念頭に置いて競技に取り組んでおりました。

そうして臨んだインカレリレー、前日にあった個人戦のほうは特に目立ったミスも無く、ほぼ調子よく行けた感じがしたので、明日のリレーも大丈夫かな？(この時は)思っていました。自分はリレーに対し、いつも通りの自分を出し切ってかつ、無難にまとめ後につなぐ事を目標に望みましたが、スタートからいきなりの難しいレッグが続き、これまでエリートを走ったことが無い自分には大いに苦戦を強いられました。

どうにか 3 走、戸上につなぎ走り終わった後は順位を大幅に下げたことに対し申し訳なさや不甲斐無さで一杯でしたが、最終的には戸上が挽回しリレー入賞、とても嬉しい結果となりました。

今回リレーエリートを走り他大の人たちと競っていて実感したことに、どんな人でもミスはする、という事があります。今回リレー中に競っていた他大のエリート達はほとんどがミドル A エリートでしたが、自分のプランが正しかったり、彼らが間違っミスをしたりしている光景を実際に何度か目の当たりにしました。しかしそんな事があっても自分は彼らと差がついてしまっています。彼らと違うところはまた、巡航だとか根気強さだとか解らないけども何か別の要因があると思うので、今回走らせて頂いた経験と共に、今後の課題としていきたいです。

自分は現在 4 年生になり研究室にも所属致しました。研究や院試も加わり、オリエンとの両立が大変ではありますが、現役生活最後の 1 年も、オリエンの実力向上に全力を尽くしていきたいと考えております。



## 2013 年度インカレミドル・リレーを終えて

2014 年も 6 月に入り、早くも 5 ヶ月が経過してしまいました。そして、インカレミドル・リレーから 3 ヶ月経過したことになります。大学生になってから記憶力が低下してしまった僕でさえ、3 ヶ月経った今でもリレー 3 走でゴールした瞬間は鮮明に覚えています。

必死になりながらやっとラスポに辿り着き、ゴールへ向かって斜面をものすごいスピードで下る...

沸き上がる歓声の中に「走れ！！」と叫ぶ OLT 部員の声聞きながら最後の力を振り絞って会場を走る...

ゴールした瞬間、予想外の声が聞こえた。「6 位！6 位だよ！」

まだ計センを通過していないのに、入賞だ、入賞だどつぶやいて自分に言い聞かせることによって入賞したという現実が押し寄せてきて涙がこぼれた。計センで「OK です」と言われた後、計セン近くまで駆け寄ってきた部員の元へすぐに行き雄叫びをあげ、その場に崩れ落ちた。

自分が塚越さんからバトンを受け取った時点での順位は 8 位。7 位の北大とは十数秒の差だからすぐ抜かせるとして、6 位の一橋とは 3 分の差があった上に 3 走は細淵さん。5 位の金大とは 7 分あるし、はっきり言って入賞は難しいと思っていました。去年のリレーでは僕がミスったせいもあって入賞を逃しているだけに今年も入賞できないかもしれないってのはとても悔しかったです。決して入賞を諦めはしませんでした。たえベストを尽くしてもこの差を埋めることができないこともあるから、入賞できなくても仕方ないと思っていました。入賞圏内にいて変にプレッシャーがかかるよりかはその方がずいぶん気が楽だったので大きなミスをせずにオリエンすることができました。その結果が 6 位入賞に結びついたのではないかと思います。

東工大のリレー入賞は目標の 1 つでした。入部 2 年目にしてその目標が達成できたのは大きいです。ただ、入賞は 1 つの目標であってゴールではないので今後も食欲に結果を求めたいです。今年度はリレー順位を 6 位から上げること、個人でミドルかロングの入賞をすることが目標。団体で結果を残す方が嬉しいのだが、去年のインカレは全くと言っていいほど個人での結果を残せていなかったもので精一杯頑張ります。

最後に、自分がここまでやって来れたのは部員のみならず切磋琢磨できたことと、コーチをはじめとした OB さん方のサポートのおかげです。今までありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

つばめ会の皆様こんにちは、31期大嶋がインカレ運営記を書かせていただきます。まず、矢板インカレに参加していただいたみなさまありがとうございました。

また OLT からは他に田村さん、高野さん(30期)楠、宮崎、保川(31期)が運営に参加していました。田村さんが併設大会責任者、楠が会場チーフ、宮崎がモデルイベント責任者、保川が救護チーフを務めるなど、みな責任ある立場で運営に参加しておりました。私は競技責任者補佐を務めさせていただきました。

今回、2年ぶりにリレー入賞を果たしたということでおめでとうございます。運営した甲斐があったなという感じがあります。

#### インカレ運営に参加したきっかけ

東大同期の中野君(運営責任者)に4月くらいに誘われて気軽に承諾したのがきっかけです。自分自身インカレには楽しい思い出があるので、恩返しの意味が強かったです。そして、特に事前に打診もなく東大大会の顔合わせにて競技責任者補佐となりました。競技パートは他のパートと比べて早い時期から動かなければならなかったのは大変でしたが、インカレ全体を見ることができて良かったと思っています。

#### 競技責任者補佐の仕事

コース関係を担当するというので、テレインの下見や会場回りの検討などを行いました。最初の仕事はテレインの下見で、旧マップ片手にテレイン内を一人で歩き回って、使える場所等の検討を行いました。初めて入った時、昔の地図の精度と植生の変化には正直とても驚きました。その他は試走時の設置、試走の割り振りやコース検討、地図の細かいエラーチェックなど細かな仕事をいろいろとやらせていただきました。当日は特に仕事はないため、バスの対面通行誘導やゴール、スタートなどいろんなところに行きました。東工大の入賞時も対面通行誘導中であったことが若干悔やまれます。あとはポ確等も行いました。

#### インカレを運営して

個人的には奈良インカレの影響は強くあって、「絶対に成立させなければいけない」という思いは強かったです。特に競技パートは一步間違えれば提訴、不成立になる危険性を抱えたパートでしたので、特に注意が必要でした。調査依頼が発生しないように、注意して準備を行いました。奈良、滋賀と競技トラブルを経験してきた身としては、最後、調査依頼やトラブルなく大会を終えることができ、非常にうれしかったです。また他の大会と違って、競技だけでなく演出を求められる点も大変だなと感じました。演出を考えると、競技的なリスクが伴うことが多く、ぶつかることもあったように思います。演出には最大限協力したいですが、基本的には競技成立が優先ですのでリスクは排除するように動きました。

あとはインカレって面倒だなというのが一番感じました。

とりえず宿泊輸送とかは某旅行会社に丸投げするのが良いと思いました。

そのほか多大な課題があるものの、運営のスペシャリストたちがたくさんいて成り立っていることを強く感じました。

運営者の皆様は本当にすごいと思いました。

あとは地図ですね。もうすこし何とかすべきだとは思いますが...

#### 個人的な感想

正直、修論とインカレ運営の両立はしんどかったです。両方とも同じ時期に忙しくなってくるので。土日は休んだり、実験したりしたいなか、栃木への往復を繰り返しました。要項などのチェックも修論追い込み時期にやってきたのは大変でした。でもほかの社会人の運営者の方々も忙しい中、しっかりと運営を遂行しており、すごいなという感想です。自分もバイタリティを高めていきたいなど、思っております。

#### 今後に向けて

またいつか運営をやってみたいとは思っています。新 OB の皆様も、機会があれば一度やってみると良いのではないかと思います。

#### 最後に

今春より社会人となりまして、先日鹿沼の事業所への配属が決まりました。

日光、矢板等のオリエンテーリングイベントには積極的に参加しようと思っておりますので、宜しくお願い致します。車も早いうちに買うつもりです。

また、周りに娯楽は少ないので平日などはランニングをして、またもう少し走れるようにしていこうかなと思っております。

東工大 OLT が輩出した世紀の天才

## 小山温史 日本を引っ張る

小山様特集記事を載せたいので原稿を書いて欲しい。slope 編集委員長の楠君からその依頼を頂いたのは1週間前、折しも小山様の結婚式が大盛況のうちに終わった翌日のことでした。思い返せばこの1年間には小山様関連のニュースが特に多かったように思います。この記事では最近の小山様関連の出来事を振り返ってみようと思います。

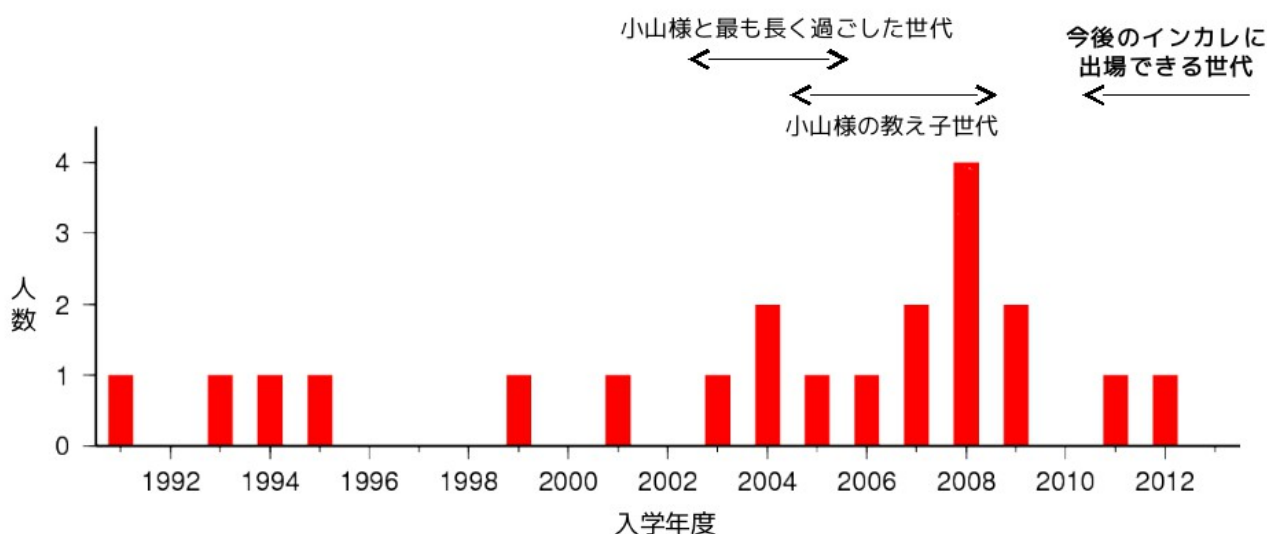
### 小山様って誰？

…なんて人はさすがにつばめ会にはいないかと思いますが念のため。本名を小山温史と言います。読み方はむらかみたくみ、ではなくて「こやまあつし」です。つばめ会 27 期(2004 年入学)、過去に 2 度もユニバーシアード日本代表になったスーパーエースです。これだけでも大変なことですよ。東工大 OLT34 年の歴史の中でユニバーシアード代表は 3 人しかいないのですから。

でも、小山様の本当の凄さは競技成績だけでは語れません。小山様はいま、オリエンティアの間で「チーム作りの天才」と呼ばれています。何しろ小山様の行くところ、どんなチームでも必ず強くなってしまいます。

東工大 OLT も例外ではありません。下の図をご覧ください。インカレショート・ミドルで決勝最上位クラス(A-final)に進出した OLT の選手数の推移を入学年度別に示したものです。小山様の登場によって A-final 進出者が大幅に増えたのがお分かりでしょうか？この手のデータは私達「小山様ファンクラブ」のホームページに何種類も解説付きで載せていますので興味のある方はぜひご覧ください(URL は最後に載せてあります)。

小山様は麻布学園中学・高等学校オリエンテリング部のご出身で、「トータス」という地域クラブに所属しています。トータスは中学・高校生オリエンティアの育成にいま日本で一番力を注いでいるクラブ。トータスで育った名選手たちがやがて大学生になり全国に散らばってクラブを引っ張り、それによって日本のオリエンテリングが成り立っていると言っても過言ではありません。その意味でトータスは日本オリエンテリング界の中心的存在であり、そのトータスをチームリーダーとして引っ張っているのが小山様なのです。



東工大 OLT の A-final 進出者数の推移(入学年度別)。詳細は小山様ファンクラブホームページ参照。

## 小山様の教え子たちが大活躍

小山様はチーム作りの天才と呼ばれるくらいですから多数の教え子を持っています。この1年間は小山様の教え子たちの活躍が目立ちました。

まずは昨年秋のインカレ。中学の頃から小山様が面倒を見てきた小山様の筆頭愛弟子の一人である尾崎弘和選手(早稲田大学3年、トータス会員、麻布学園出身)が優勝しました。

続いて12月のクラブカップ7人リレー。皆様よくご存知のインカレ団体戦は大学対抗でクラブ日本一を競う大会ですが、大学以外のクラブも含めた日本一を競うのがこのクラブカップ7人リレーです。今回の7人リレーでは小山様がチームリーダーとして率いるトータスチームが見事初優勝を果たしました。

続いてこの3月~4月にかけて行われた日本代表選考会。小山様がチームリーダーとして率いるトータスからは世界選手権、ユニバーシアード、ジュニア世界選手権合わせて何と9人もの選手が代表に選出され、トータスの無敵ぶりに驚嘆の声が上がりました。その9人の中には東工大 OLT の戸上選手(35期)も含まれています。東工大 OLT の現エースとして目覚ましい活躍を続ける戸上選手、実はトータスにも入って小山様の教えを受けながら力をつけてきた小山様の教え子であり熱烈な小山様ファンの一人なのです。



優勝したクラブカップ7人リレーの表彰台でカッコ良くマイクを握る小山様。撮影:小山様ファンクラブ。

## 小山様と花木氏のご結婚

この1年間、オリエンティアの間で広く話題になったのが小山様と花木睦子氏(千葉大 OLC 出身、トータス所属)のご結婚のニュースでした。

このニュースが最初にオリエンティアの間に広く知れ渡ったのは昨年8月、orienteering.com という今や知る人ぞ知るオリエンテーリングの情報サイトに二人のご結婚を記念した大会の情報が載ったときでした。その大会は昨年10月、トータスの主催で開催されました。その名も「花木睦子&小山温史結婚記念八ヶ岳南麓フォトロゲイニング」。つばめ会からは小山様の生涯最高の親友として知られる村上巧様(27期)をはじめとして5人が参加しました。

しかし実はこの時点ではまだ正式にはご結婚されていなかったとのこと。その後、今年1月に入って小山様の twitter に「彼女を嫁にアップグレードしました」という記事が載り、3月には花木氏が「小山睦子」の名前で大会デビュー。こうした段取りを経て6月21日(土)、小山様の結婚式が東京都目黒区「代官山鳳鳴館」にて開催されました。

結婚式の模様は参列者の方々の twitter 上で実況中継され、参加しなかった人も含めオリエンティアの間では結婚式の話で持ちきりになりました。参加者の声によれば今回の結婚式は極めて質が高かったとの



小山様の晴れ着姿。撮影:石澤俊崇氏(トータス)。

こと。一人ひとりに合わせてそれぞれ違う引き出物を配るという徹底ぶりに参加者の間では驚嘆の声が相次ぎました。

## 花木睦子ってどんな人？

小山様の御結婚相手の花木睦子氏についても簡単に紹介しておこうと思います。私もそれほどよく知っているわけではないので全く知らない方向けです。花木氏は 2001 年千葉大入学、学生時代にはジュニア世界選手権日本代表になるとともにインカレ 6 位に入るなどの活躍をしました。卒業後もオリエンテーリングを続けていて、最近の主な実績としては 2012 年の岩手大大会で優勝しています。また日本オリエンテーリング協会公認大会のエリートクラスに出場する資格も持つ日本で数少ない選手の一人です。

花木氏も小山様同様、競技面以外でも活躍してきた方です。日本全国に数百人とも言われるオリエンティアの友人知人を持ち、トータス主催行事のほかインカレなど様々なイベントの運営で力を発揮してきました。また 2005 年頃から東工大 OLT の部室にもしばしば顔を出すようになり、OLT 関係者にとっては最も身近な外部の方の一人になっています。

## 小山様模倣のすすめ

話題は変わって 1 年ほど前、某 N 大学ナントカ山研究センターで助教の公募が行われました。つばめ会の某 M 君も応募はしたものの彼がこの公募で選ばれる可能性は低いと思われました。それでも面接試験まで進んだ M 君はその試験前夜、小山様の合宿での技術指導ビデオを繰り返し見ました。そのビデオと面接試験では内容は全く別ですが、上手なプレゼンの仕方という点で参考になると思ったからです。そして小山様流の話し方を頭に叩き込んで臨んだその面接試験、何と M 君が通ってしまったのでした。種明かしをしますとこの M 君というのは私です。そんなわけで私はこの 2 月より名大の助教(パーマネント)に着任いたしました。…って誰も関心無いですよ。編集委員長から私の近況もと言われたので書いたまでです。私のことは忘れて、どこかの誰かさんが何かの機会に小山様の真似をしたら上手く行ったという点だけ覚えておいていただければと思います。

というわけで皆様も何かの機会に小山様の真似をしてみたいかでしょうか。小山様の全てを真似るのは至難の業ですが(それが出来ればチーム作りの天才になれてしまう)、小さなことから 1 つでも 2 つでも真似ていくと思わぬご利益があるかもしれません。

## 最後に

小山様のご活躍についてもっと詳しく知りたい方は私達「小山様ファンクラブ」のホームページ

<http://koyamsfc.amigasa.jp/>

をぜひご覧ください。

執筆 前田裕太(小山様ファンクラブ/つばめ会 24 期)

小山様  
ファンクラブ

つばめ会メーリングリスト・ホームページについて

○つばめ会ML(メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段の1つとして立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽に使ってください。

なお、yahooグループのサービス終了につき、今年度よりつばめ会MLはfreemlにより運用を開始しております。新しいメールアドレスはtsubamekai[at]freeml.comとなります。

ご不明な点がありましたら、管理者の堀越 (29 期)までご連絡ください。

また、このML に関するホームページ(登録メンバーのみ)にて過去ログなどを閲覧することもできます。<http://www.freeml.com/tsubamekai> までアクセスしてください。

○ホームページ

また、つばめ会および東工大OLT のホームページが稼働中です。ぜひご覧ください。

つばめ会のホームページ 管理人:楠(31期)

<http://www.geocities.jp/tsubamekai/>

東工大OLT のホームページ 管理人:2年生のどなたか(36期)

[http://www.geocities.jp/tokyo\\_inst\\_of\\_tech\\_olt/index.html](http://www.geocities.jp/tokyo_inst_of_tech_olt/index.html)

Twitter

[https://twitter.com/titech\\_OLT](https://twitter.com/titech_OLT)

編集後記

皆様、こんにちは。つばめ会広報の楠(31期)です。

広報を拝命してから初の **Slope** の発行となります。早め早めに動いたつもりでしたが、あっさりとした仕上がりになってしまいました。もっと多くの方に原稿依頼をしないとだめですね。次回はより読みごたえのある紙面にできるよう努力する所存です。今回、原稿の依頼を受けてくださった皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。また、次号以降に原稿を依頼することもあるかと思いますがその際にはどうぞよろしくお願いいたします。

東京工業大学オリエンテーリング部 OB/OG 会「つばめ会」会報“Slope”33 号

発行責任者:伊藤 将宏

編集責任者:楠 恵輔(kusunok1.ke1suke[at]gmail.com)

発行年月日:2014年6月29日